

第3章 住民意向の把握

1. 調査概要

計画の策定に当たって、住民の避難行動の実態や住まいの再建意向、復旧・復興に向けて重要と考える取組を把握するため、町内全世帯を対象とした意向調査を実施しました。調査は、世帯代表（世帯主もしくは主たる生計者）向け1通とその家族用（世帯代表以外の方）2通の調査票を同封し、郵送により実施しました。

表11 対象世帯数、回収数及び調査期間

対象世帯数	回収数	調査期間
4,817世帯（a）	世帯代表：1,978票（b） 家族：2,131票 計：4,109票 回収率：41.1%（b/a）	令和2年2月4日 ～ 令和2年2月21日

2. 調査結果

(1) 避難行動

避難を判断した情報入手の方法は、「テレビ、ラジオ」と「家族や近所等の人の声掛け」が多い結果となりました。また、避難に際して課題と感じたこととしては、「避難するための情報が入手しづらかった」、「避難所までの移動が困難だった」が多い結果となりました。

こうした結果を参考としながら、令和元年東日本台風における災害対応についての検証を実施し、今後の防災・減災対策に反映してまいります。

表12 避難を判断した情報入手の方法
(避難した方)

回答	回答数
テレビ、ラジオ	288
家族や近所等の人の声掛け	260
エリアメール(携帯各社の緊急速報メール)	184
まるもり安心・安全メール	135
インターネット情報(SNS含む)	70
防災無線(屋外放送)	27
その他・無回答	155
計	1,119

表13 避難に際して課題と感じたこと
(避難した方)

回答	回答数
避難するための情報が入手しづらかった	214
避難所までの移動が困難だった(例 冠水、落石、遠距離など)	213
避難所の備蓄や運営体制が不十分だった	105
避難所での避難行動要支援者(高齢者、障がいのある方等)への支援が不十分だった	65
避難所の場所を知らなかった	50
避難所での乳幼児や女性に対する支援が不十分だった	39
その他・無回答	280
計	966

(2) 住まいの再建意向

現在の住まいについて、「台風以後は別の住まい」の世帯が 179 世帯となっています。これからの住まいについては、「建替え」、「移転」などの再建を予定している世帯が 72 世帯となっています。

また、住まいの再建の進め方については、「わからない」、「その他・無回答」の世帯が多くなっており、具体の回答があった中では、「丸森町内の公営住宅」、「台風以前と同じ場所」が多くなっています。

この結果を踏まえつつ、さらに詳細な意向の確認を行い、災害公営住宅の整備や町営住宅の再建を進めるほか、住宅再建に向け、その意向に寄り添いながら恒久的な住環境を確保するための取組を進めます。

表 14 現在の住まいの状況

回 答	回答数
台風以前と同じ住まい	1,695
台風以後は別の住まい	179
無回答	104
計	1,978

表 15 「台風以後は別の住まい」の内訳

回 答	回答数
仮設住宅	75
みなし仮設住宅	46
民間賃貸住宅	11
親類や知人宅	19
その他・無回答	28
計	179

表 16 これからの住まい(被害を受けた世帯)

回 答	回答数
建替え、移転などの再建を予定している	72
台風以前からの住まいの修繕等を行い住み続ける	356
その他、無回答	249
計	677

表 17 住まいの再建の進め方

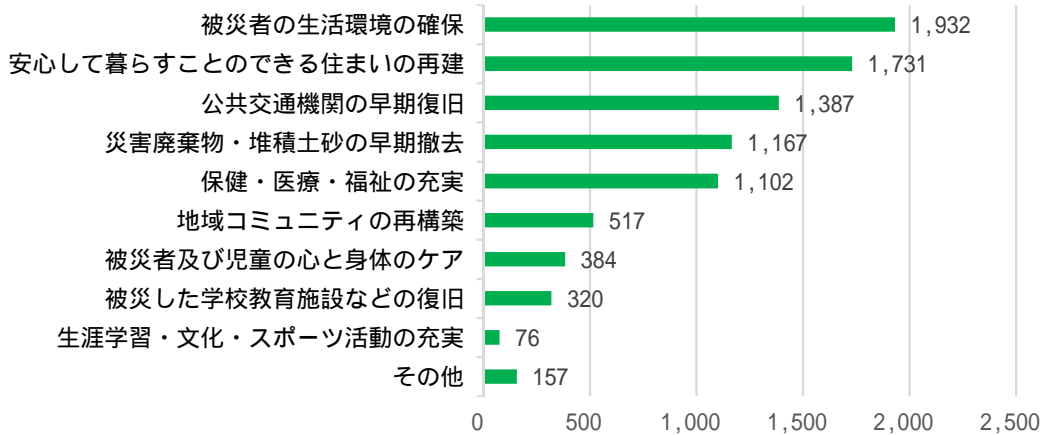
回 答	回答数
台風以前から住んでいる同じ場所で建て替えたい	16
台風以前に住んでいた場所以外の地区内で、再建したい	8
台風以前に住んでいた場所以外の地区内で、集団で再建したい	4
台風以前に住んでいた地区外(丸森町内)で、個人で再建したい	7
台風以前に住んでいた地区外(丸森町内)で、集団で再建したい	5
丸森町内の公営住宅に住みたい	30
丸森町内の民間住宅・アパートを賃貸し、住みたい	1
丸森町外に住みたい(住宅再建・賃貸)	9
わからない	31
その他・無回答	74
計	185

(3) 復旧・復興に向けて重要と考える取組

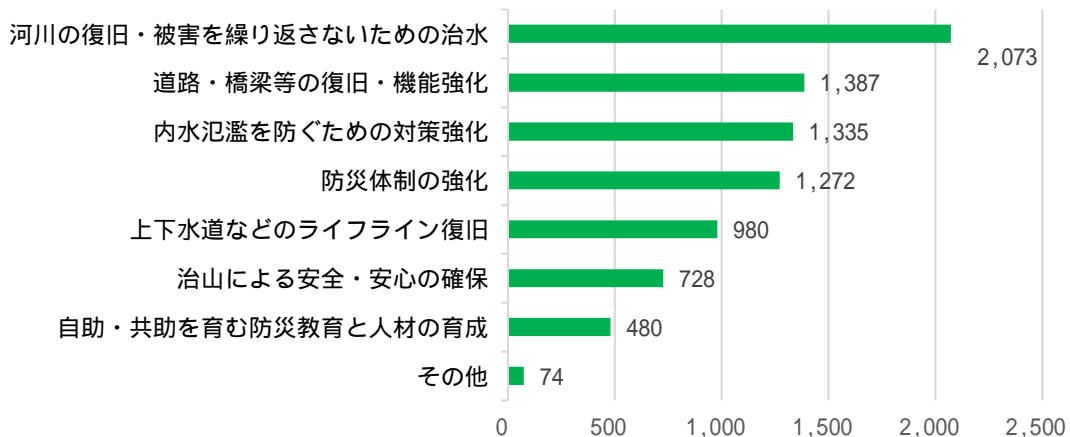
「丸森町復旧・復興基本方針」に掲げた「復興のポイント」のうち、町民が復旧・復興に向けて重要と考える取組は以下のとおりとなりました。こうした意向を十分に踏まえ、事業の優先度を見定めつつ、スピード感を持って復旧・復興に向けた取組を推進します。

図4 復旧・復興に向けて重要と考える取組

1. 安らぎのある暮らしの再建（回答総数8,773）



2. 災害に強く魅力あふれるまちの創造（回答総数8,329）



3. 活気あふれる産業・なりわいの再建（回答総数6,725）

